

令和5年度 地域懇談会

～市長と語る会～

意見 及び 回答

令和5年（2023年）10月

瑞浪市

目 次

地区名	番号	意見タイトル	ページ
大湫	1	「神田公民館～大湫(旧道)の道路」の補修と舗装について	1
	2	新病院への交通アクセスについて	2
	3	中山道(寺坂から権現山一里塚まで)の道路と側溝の整備について	3
	4	瑞浪市議会議員(魅力ある瑞浪市議会)について	4
	5	山間地域の害獣対策について	5
	6	総合化事業計画認定支援ほかについて	6
日吉	1	「瑞浪駅周辺のまちづくり」駅北エリアについて	7
	2	野生動物の被害について	8
	3	新五月橋の活用計画について	9
	4	今後の「日吉てらこや」について	10
	5	太陽光発電設備の設置に伴う自然破壊について	11
	6	東濃厚生病院の後利用について	12
	7	リニア残土置き場の後利用について	13
	8	民間事業による環境への影響について	14
瑞浪 (寺河戸等)	1	駅周辺のまちづくりについて	15
	2	建材費や人件費の高騰による事業への影響について	16
	3	ごみの焼却場の広域化と電源立地交付金について	17
	4	瑞浪駅周辺の計画について	18
	5	本日の説明の全般について	19
	6	タクシーの利用について	20
稲津	1	老人憩の家(寿楽荘)のインターネット環境の整備について	21
	2	モノより心 駅北開発への疑問	22
	3	新病院の経営の見通しについて	23
	4	市政直行便について	24
瑞浪 (小田)	1	東濃厚生病院の後利用について①	25
	2	新病院の待ち時間について	26
	3	東濃厚生病院の後利用について②	27
	4	病児・病後児保育の場所について	28
	5	幼稚園・小学校の立地について	29
	6	新病院の設備について	30
	7	東濃5市消防指令センターについて	31
明世	1	瑞浪市内の活性化について	32
	2	バスの運行について	33
	3	狭間川公園の整備について	34
	4	緊急車両の通行状況の通知について	35
	5	東濃厚生病院の後利用について	36
	6	自治会加入促進施策について	37

目 次

地区名	番号	意見タイトル	ページ
	7	ゴルフのまち瑞浪について	38
	8	太陽光発電施設への対応について	39
	9	令和6年瑞浪市二十歳の祝典について	40
	10	3館（化石博物館、陶磁資料館、市之瀬廣太記念美術館）統合再編について①	41
	11	3館（化石博物館、陶磁資料館、市之瀬廣太記念美術館）統合再編について②	42
陶	1	東濃厚生病院の後利用について	43
	2	新病院へのアクセスについて	44
	3	陶町における若者の減少について（複式学級、学習支援）	45
	4	瑞浪駅周辺再開発事業について	46
	5	瑞浪駅周辺への瑞浪市観光協会の設置について	47
土岐	1	農業法人が抱える課題の把握について	48
	2	堤防通学道路の冬季夕方の照明対策について	49
	3	農産物等直売所「きなあた瑞浪」の今後の活用について	50
	4	新病院について	51
	5	市の人口減について	52
	6	市議会の現状について	53
	7	駅周辺再開発、道の駅について	54
	8	旧日吉中学校（現 日吉小学校）の建替えについて	55
	9	市長のこれまでの成果について	56
	10	広域消防通信について	57
	11	乾電池や蛍光灯の収集場所の設置について	58
	12	消火設備の更新について	59
	13	総合文化センターの移転先と収容人数について	60
釜戸	1	東濃厚生病院の後利用について	61
	2	瑞浪駅北に整備する複合施設の文化センターホール機能について	62
	3	釜戸町内にある産業廃棄物処理の業者の排水について	63
	4	外国人の移住について	64
	5	6月2日の豪雨の修復等の状況について	65
	6	化石発掘の野外体験学習地について	66
	7	今後の小学校の在り方について	67
瑞浪 (山田)	1	新病院の医師確保について	68
	2	市長と語る会の内容について	69
	3	市長と語る会の開催方法および子どもに対する施策について	70
	4	山田町内の歩道について	71
	5	ごみの最終処分場について	72
	6	地区公民館について	73
	7	自治会組織への加入および加入していない方のごみの捨て方について	74
	8	道路整備の際に設置する街路樹について	75

地区名	大湫地区	番号	1
タイトル	「神田公民館～大湫(旧道)の道路」の補修と舗装について		
ご意見の内容			
<p>この道路は、道幅がとても狭く、材木等の運搬の大型車両の走行・豪雨による道路路肩が崩れ、生活道路として使用しづらくなっているため、補修と舗装整備をお願いしたい。</p>			
市長の回答	担当課	土木課	
<p>お尋ねの道路は県道大湫恵那線で、管理は岐阜県になります。事前質問があった時点で現地を市職員が確認し、岐阜県へ修繕の依頼をしました。修繕については、岐阜県多治見土木事務所へ直接ご連絡いただくか、市役所でも受け付けて岐阜県に報告させていただきますので見つけて頂いた際にはご連絡お願いします。</p>			

地区名	大湫地区	番号	2
タイトル	新病院への交通アクセスについて		
ご意見の内容			
<p>大湫町においても高齢化が進み医療を必要とする方々が増えています。今回、2市による新病院が建設されますが病院への交通アクセスがどのように進んでいますか。</p> <p>診療予約時間は医師が決める為、予約時間に合わせて受診できるような交通アクセスが必要となるのではないのでしょうか。</p> <p>コミュニティバス・デマンド交通利用者の新病院へのアクセスはどのように対応するのでしょうか。</p> <p>新病院では産婦人科が開設され安心して分娩できると思いますが、新生児時の緊急時に対応できる医師・スタッフが必要ではないのでしょうか。2市だけでなく他県も踏まえた医療体制をとる必要があると思います。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>新病院のアクセスについては、まずは運営を担うJA岐阜厚生連に検討いただきたいですので、交通手段を確保するよう要望していきます。ただし、JA岐阜厚生連に願うだけでなく、市としてコミュニティバスやデマンド交通等で対応できるか検討します。</p> <p>新病院建設基本計画において、産婦人科は「重点を置く診療分野・機能」に位置付けており、医局への強い働きかけなどにより医師確保の目途が立ち、開設が見込める状況であると認識しております。周産期医療の緊急時に備えた対応については、東濃地域周産期医療センター（県立多治見病院）との連携が考えられますが、指定管理者制度により新病院の運営を担うJA岐阜厚生連により対応が検討されます。</p>			

地区名	大湫地区	番号	3
タイトル	中山道(寺坂から権現山一里塚まで)の道路と側溝の整備について		
ご意見の内容			
<p>平成5～6年頃の中山道整備事業以来、30年以上経過しており毎年、町の年3回の奉仕作業で整備しても、間伐材を使った側溝はつぶれて土砂の掻き出しは不能。道といえば今までに何度も碎石を入れても雨の度に流出してしまう。</p> <p>宿場町並みの整備もよいが、歩いて通る人にとっては歩きにくいだらうと思います。</p> <p>何卒、整備をよろしくお願い申し上げます。</p>			
市長の回答	担当課	スポーツ文化課	
<p>寺坂から権現山一里塚までの中山道は、平成13～17年度にかけて整備を行ったところです。そこから約20年が経過し、所々に路面の洗掘や溝の埋没などが発生していることは承知しており、令和5・6年度に緊急性が高い箇所の応急修繕を行う予定です。</p> <p>その後、本格的な修繕や再整備を実施したいと考えておりますが、この区間は現在、国の文化財（史跡）に指定されていることから、整備にあたっては遺跡の保護や景観に配慮した工法を用い、国（文化庁）の許可を得ることも必要となります。</p> <p>そのため、令和6年度に有識者や文化庁から指導を受けるなどして、中山道の整備基本計画を策定し、この計画に基づいて修繕や再整備を行うことを予定しています。</p>			

地区名	大湫地区	番号	4
タイトル	瑞浪市議会議員(魅力ある瑞浪市議会)について		
ご意見の内容			
<p>今年統一地方選挙の年であり、瑞浪市においても市議会議員、県議会議員、市長選挙と続く予定であった。私は輪番によって、市議会議員選挙の立会人となっていたが、無投票となり次の県議会議員選挙に横滑りとなったがここでも無投票となった。立会人の役割を果たしたのは、市長選挙であった。この市長選挙では、思ってもみなかった光景がそこにあった。どうしてそこまでして投票に来るのか、それにはもっとも身近な政治が大湫町にあるからだと思った。</p> <p>昨今、「地方議員のなり手が足りない」というニュースを聞くことがある。今回の市議会議員選挙で「定数割れ」こそしなかったものの、無投票当選という現実を改めて身近に感じた。市議会議員になることに魅力が無いのか、そうしたら魅力の無い町になってしまうことに危惧している。</p> <p>8月の区長会で市議会からの報告があり、9月29日に議会報告会で「これからの瑞浪市議会の在り方～議員定数について～」のテーマで意見交換会あるとのことであったが、地域懇談会「市長と語る会」という身近な場所で語ってみたい。また語っていただきたい。そしてこの現状を地域の方々に理解していただきたい。</p>			
市長の回答	担当課	議会事務局	
<p>地域懇談会の場で、瑞浪市議会の在り方、議員定数についてを語ってみたいとのご意見ありがとうございます。市長と市議会議員は皆様から選挙で選ばれますので、それぞれが市民の代表といえます。市議会は、我々行政機関が行う行政サービスをチェックする機関であり、市民の皆さまのためにより良い瑞浪市となるよう、それぞれが対等な立場で市政にあたっています。</p> <p>いただきましたご意見のとおり無投票であったことは、市民の政治離れや市の魅力の低下の現れとも言えます。若者をはじめ、多くの皆さんに市政や議会活動に興味を持っていただき、魅力ある議会とすることが市の活性化にもつながりますので、本日この場でその現状や課題をお話しして、対応策などのご意見をいただいてもよいかと考えます。</p> <p>しかしながら、市議会は独立した機関です。瑞浪市議会では、議員定数や魅力ある議会についての課題を我がこととして捉え、9月29日に議会報告会が開催されると聞いております。市民の皆さまから出されるご意見を参考に、瑞浪市議会に相応しい議員定数を決定されるとともに、魅力ある議会への取り組みが検討されていくことになると思います。</p>			

地区名	大湫地区	番号	5
タイトル	山間地域の害獣対策について		
ご意見の内容			
<p>近年、イノシシ等の害獣による被害により、道路脇の至る所に穴が開いており、路肩も崩れています。</p> <p>さらに最近では、外来種による民家の田畑などへの被害も及んでおり、各自において対策を施していますが効果が無くやめざるを得なくなっております。このままでは生活が成り立たなくなってしまう、地元を離れていかざるを得なくなる状況になっております。</p> <p>害獣駆除対策をお願いします。</p>			
市長の回答	担当課	農林課 環境課	
<p>瑞浪市では、鳥獣による被害を防止するため、瑞浪市鳥獣被害対策実施隊によりイノシシやニホンジカの捕獲を行っております。市内各所に罠を設置しており、令和4年度にはイノシシを540頭（県事業含む）、ニホンジカを24頭を捕獲しております。皆様が安心して暮らせるよう、今後もイノシシやニホンジカなどの捕獲を継続して実施し、鳥獣による被害対策を推進してまいります。</p> <p>また、イノシシによる田畑への被害対策としまして、電気牧柵の購入費の補助制度やワイヤーメッシュ柵の支給を行っておりますので、ご活用ください。</p> <p>アライグマ、ヌートリアについては、特定外来生物の防除対象としております。これら特定外来生物による被害でお困りの場合は、環境課にて申請をいただければ箱罠の貸出を行いますので、申請者様にて捕獲することができます。捕獲後は殺処分となります。</p>			

地区名	大湫地区	番号	6
タイトル	総合化事業計画認定支援ほかについて		
ご意見の内容			
<p>中津川市の農業者が農林水産省の総合化事業計画に認定されたという新聞記事を見た。瑞浪市もこの事業へ参画できるよう農業者の支援をして欲しい。</p> <p>また、過疎になるのは働く場所がないからである。自分の子どもを近くで遊ばせながら農業できる環境を整えて欲しい。</p>			
市長の回答	担当課	農林課	
<p>農業者が作った新鮮な野菜を販売する場を確保するため、平成24年に農産物等直売所「きなあた瑞浪」を設立しました。現在、200名程度の生産者が出荷しています。人によっては何十万、何百万売り上げる方もいます。ぜひご活用ください。</p> <p>また、新聞記事にあります6次産業化や地産地消の取組みは、農業者の経営安定化、雇用の拡大に繋がるものです。瑞浪市でもこういった取組みを積極的に支援していますので、希望される方は農林課までご相談ください。</p>			

地区名	日吉地区	番号	1
タイトル	「瑞浪駅周辺のまちづくり」駅北エリアについて		
ご意見の内容			
<p>瑞浪駅北には市営駐車場があり収容台数370台（R5.7.4瑞浪市HP）となっています。駅へのアクセスも良く利用させていただいています。</p> <p>「瑞浪市注目事業概要」（R4.1）の再開発事業を拝見すると、駅の近くに複合施設を建設し、駐車場は現在、民間企業がある場所に移動するようですが、収容台数はどのようになりますか。これまでより遠くなるように思います。また、複合施設の利用者も使用すると不足することがないか心配です。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課	
<p>瑞浪駅周辺まちづくりにおける駅北地区事業では、約2.5haの用地の中に450～500台程度の駐車スペースの確保を予定しています。現在、瑞浪市総合文化センターの駐車場は約180台ですが、満車になるようなことはよほど大きなイベントの時だけかと思えます。駅北に整備される複合公共施設を利用される方は、数時間の利用が多いものと想定していますので、駐車場の利用者は入れ替わることから、現状の駅北の駐車台数370台に加え、これくらいの台数が確保されれば、皆様が不便に思うようなことはないと考えています。</p> <p>また、複合公共施設が西側にそれほど伸びるものではない上、北口の改札ができれば、極端に駅の利用者が歩くのに遠くなってしまわないかと思えます。</p> <p>複合公共施設の利用者数の想定については、具体的な数字は分かりませんが、今後の基本設計、実施設計を行うにあたり、盛り込んでいけるかと思えますが、相当の利用者があることを期待しています。毎日でも利用したいと思える施設を目指していきます。</p>			

地区名	日吉地区	番号	2
タイトル	野生動物の被害について		
ご意見の内容			
<p>ここ数年、野生動物が農作物を荒らし、道路沿いを掘り返すなどの被害が確実に増加しています。行動も夜間に限らず日中も平然と見かけるようになりました。見かける動物もイノシシだけでなく、鹿、猿等と種類も増えています。</p> <p>駆除に携わっていただいている猟友会員も少なくなっており、駆除の増加も望めません。</p> <p>現在も対策を実施していただいているところですが、一層の強化をお願いしたいと思えます。</p> <p>せっかく作った農作物が食い荒らされ、住宅の目と鼻の先の道路沿まで掘り返されては、この地域を守っていかうとする思いも萎えてしまいそうです。</p> <p>また、整備された雨降り峠について、道路脇をイノシシが荒らしており、道路に石が落ちてくるのを何度もみかけました。危ない状況です。</p>			
市長の回答	担当課	農林課 土木課	
<p>雨降り峠のお話は、大変危険だと感じました。普段、通られる中で道路の異変に気付いた場合、土木課へ連絡をお願いします。市でも見回り等ができればいいのですが、なかなか市内全域を把握することはできない状況ですので、皆様の協力により早期発見、修繕をしていければと思います。</p> <p>瑞浪市では、鳥獣による被害を防止するため、瑞浪市鳥獣被害対策実施隊によりイノシシやニホンジカの捕獲を行っております。また、県と連携し捕獲1頭あたりに報奨金を支払っています。市内各所に罠を設置しており、罠で鳥獣が捕獲されると、お知らせが届くというようなICTを活用した取組も行っています。令和4年度にはイノシシを540頭（県事業含む）、ニホンジカを24頭捕獲しております。皆様が安心して暮らせるよう、今後もイノシシやニホンジカなどの捕獲を継続して実施し、鳥獣による被害対策を推進してまいります。</p> <p>また、イノシシによる田畑への被害対策としまして、電気牧柵の購入費の補助制度やワイヤーメッシュ柵の支給を行っておりますので、ご活用ください。</p>			

地区名	日吉地区	番号	3
タイトル	新五月橋の活用計画について		
ご意見の内容			
<p>令和10年頃に新五月橋が完成すると聞いており、瑞浪市に新たな交流軸が生まれます。北へ行き止まりであった日吉地区には大きな期待となっています。</p> <p>令和6年度から始まる第7次瑞浪市総合計画に向け、計画策定が進められていると思いますが、新たな交流軸を活用することは、総合計画に盛り込まれるものと思っています。せっかくの新五月橋を市の活性化につなげなければもったいない話です。</p> <p>日吉町でも地域計画策定に向けワークショップが始まりましたが、この計画に新五月橋の活用を盛り込むことは、まちづくり推進組織には荷が重過ぎます。</p> <p>つきましては、総合計画に新たな交流軸の活用を明記していただくとともに、ハード・ソフト両面からの活用計画を、市が主導して策定いただきたいと思えます。</p>			
市長の回答	担当課	企画政策課	
<p>新丸山ダム建設、新五月橋の計画は順調に進んでいます。令和10年頃には新五月橋が完成し、その後新丸山ダムが完成するのではないかと思います。</p> <p>これらの活用について、国土交通省が主体となり、瑞浪市、恵那市、八百津町、御嵩町の2市2町が連携し、検討しています。</p> <p>2市2町を含む新丸山ダム水源地域協議会が作成する「新丸山ダム周辺地域振興ビジョン」に基づき、地域活性化の取組を検討していますが、各自治体がそれぞれの魅力を持ち寄って、それらの魅力ある資源を周遊していただくことによって、地域活性化につなげていきたいとの想いです。</p> <p>既に地域の方々にも、その活用について何かあるかを聞いたこともあったかと思いますが、これからが具体的にすすめていく段階ですので、皆様からもご意見やご提案をいただけましたら、このビジョンに盛り込んでいけると思います。</p> <p>地元の皆様も市に任せるというわけではなく、日吉町の活性化につながる資源になる可能性があるかと思えますので一緒になってそれぞれの役割で進めていければと思います。</p>			

地区名	日吉地区	番号	4
タイトル	今後の「日吉てらこや」について		
ご意見の内容			
<p>日吉てらこやでは、全校生徒76名のうち37名の児童の参加があり、地域の皆様と協力しながら、たくさんの学び、気づきを与えてくれる機会となっています。この取組は、夏休み以降も続けていきたいを考えています。</p> <p>今後の「日吉てらこや」について、持続可能にしていくためには、放課後教室へ移行していけるよう市の協力をお願いしたいと思います。</p> <p>放課後教室の要綱をみると、放課後に安全かつ安心な活動を確保し、地域の方々の協力を得ながら、様々な体験学習、交流を通じて子どもたちが、社会性や創造性を育む場を提供するものとなっています。日吉てらこやは、これに該当するものと思います。</p> <p>市からの補助金は今年含め3年と言われており、今後この取組を継続していくためにも、放課後教室として動き出せるよう支援をお願いします。放課後教室として何が必要なのか、できることやできないこと等を教えてください。</p>			
市長の回答	担当課	社会教育課 子育て支援課	
<p>日吉町での子育ての課題は、他地域でも共通の課題であり、日吉町のこの取組が他地域でのモデルケースにもなりうるのではないかとこの思いから、実現をいただきました。</p> <p>「日吉てらこや」を実際に視察させていただき、これほど多くの方が望んでいたものだったのかと改めて認識しています。</p> <p>3年間という現行の補助制度はしっかりと活用いただきながら、放課後教室に移行するためにどのようにしたらいいのか、地元でどのような協力をいただかないといけないのかを検討していければと思います。日吉地区及び陶地区以外の市内各地区では、放課後児童クラブが運営されていますが、子の運営にも関わってくることから、日吉全体でこの課題を考えていければと思います。</p> <p>まずは今年、来年と継続して進めていただきながら、今後に向けて検討ができればと思います。</p> <p>放課後教室には、必要なコーディネーターや教育活動推進員、教育活動サポーター、地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得て、放課後等に全ての子供を対象として学習支援や多様なプログラムが実施できるよう、検討を重ねていきます。</p> <p>仮に移行が難しいという話になっても、3年間で補助金を打ち切ることがないように、今の取組を継続いただけるような支援をしていきたいと考えています。</p>			

地区名	日吉地区	番号	5
タイトル	太陽光発電設備の設置に伴う自然破壊について		
ご意見の内容			
<p>日吉町の魅力は自然であると思います。産業、商業施設もあまりない。自然環境を守っていくことが必要であると思います。太陽光発電設備の設置に伴い、自然環境が破壊されることが気にかかっています。</p> <p>自然環境を守るための条例等をさらに強化できないものでしょうか。</p>			
市長の回答	担当課	環境課 都市計画課	
<p>太陽光発電設備の設置は全国的に課題であると思いますが、政府では積極的に推進してきた経緯があります。市にも設置の申請が挙がってきますが、無条件に認めるわけではなく、条例（※）に基づき、地域の了解を得ながら計画を進めていただくようにしていただいています。</p> <p>しかし、国の方針もあることから、設置を禁止することまではできない状況にあります。市長会等の場で、国へ要望はさせていただいています。</p> <p>山を切り開いて設備を設置しなくとも、屋根等それ以外の部分で何とかならないものかと思う部分があります。事業者に対する指導はしていきたいと考えていますが、設置を止めるまでには至らないのはご理解をいただきたいところです。</p> <p>日吉町では匂いの問題もあるかと思いますが、鶏卵等は大きな産業の一つです。事業者にも設備改修等を行っていただくなど自己防衛を強化いただいております。以前よりは改善されている状況です。環境基準以上の数値が感知されれば、指導もできますので環境課に連絡をいただければと思います。</p> <p>（※）条例名：瑞浪市における再生可能エネルギー発電設備の設置と自然環境等の保全との調和に関する条例</p>			

地区名	日吉地区	番号	6
タイトル	東濃厚生病院の後利用について		
ご意見の内容			
<p>東濃厚生病院は閉院するということですが、後利用についてはしっかり検討していただきたいです。もし、解体するとなると、その費用を市では賄いきれないのではないのでしょうか。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>土岐市立総合病院は、土岐市が建設し所有する建物であり、土岐市が運営していました。現在は、指定管理者制度によりJA岐阜厚生連が運営しています。そのため、土岐市において後利用を考えられます。</p> <p>東濃厚生病院は、JA岐阜厚生連の所有の土地、建物です。そのためJA岐阜厚生連が後利用を決められます。最終的には解体される可能性もありますが、その解体費用について市が支援するという事はありません。しかし、建物は築26年程度であり、耐用年数もあるため、恵那市とともに有効活用いただけるような後利用をお願いしています。その中で、診療機能は残していただくよう要望しているところです。</p> <p>何人の医師を確保いただけるか分かりませんが、一次医療ができる体制を整えていただけるよう、要望しています。</p> <p>また、270床の病床がありますので、介護、福祉、健康増進、リハビリができるような施設の活用についても要望しているところです。</p>			

地区名	日吉地区	番号	7
タイトル	リニア残土置き場の後利用について		
ご意見の内容			
<p>リニア残土埋立地の所有者は遠方の方もいる。埋立が今後終了した際に、地権者に返されるが、一連の平らな土地ができた際、個々に転売され、南垣外区に迷惑な施設ができることを懸念しています。今できることは、工場等を誘致して、地権者に賃料が入るような仕組みがいいかと思ったところです。地権者組合を作って守っていくという案もありますが、地権者が地元だけではないため、なかなか統制が難しい状態です。</p> <p>企業が活用されるような場所にならないものでしょうか。</p>			
市長の回答	担当課	企画政策課	
<p>瑞浪市も地権者の一人ですので、後利用を考えていきたいです。当該地は、あくまで残土を埋め立てるのみで、建物を建てられるようにと整備をしてきた土地ではない状態です。まずは、建物を建てられる土地かどうかをまず調べないといけません。</p> <p>市としましては、その土地をしっかりと調べさせていただきたいと思います。どのくらいの程度であれば可能なのか、太陽光発電設備ならいいのか。路盤の可能性を調査して皆様に説明していきたいと思います。</p>			

地区名	日吉地区	番号	8
タイトル	民間事業による環境への影響について		
ご意見の内容			
<p>日吉町の弁天池の南側にある空家で、アヒルを孵化直前まで育てる事業をしようとする事業者がいます。事業者に孵化しなかった卵の処理の仕方等確認したところ、業者側の対応は曖昧であり、より丁寧な応答が必要であると考えます。</p> <p>日吉町内には養鶏場があり、消毒用の薬剤が道路に大量に撒かれています。それが日吉を流れる川を汚染していないか心配です。河川水質調査はどのくらい行われているのでしょうか。</p> <p>また、鶏糞の悪臭が漂い不快です。対応いただけないのでしょうか。</p>			
市長の回答	担当課	家畜診療所 環境課	
<p>現在、県に営業許可、製造・販売等について岐阜県に確認しております。岐阜県の見解が示されましたら、連携して対応してまいります。</p> <p>河川の水質検査は、環境課が日吉町内で年2回、5箇所を実施しており、いずれも水質に大きな異常は見られませんでした。養鶏場の消毒薬は逆性石鹼をメーカーが指定する希釈倍数である1000倍を遵守し使用していただいておりますが、市としては今後も環境への配慮を欠かさないよう注視してまいります。一般的には、車両に噴霧する使用方法で、河川に流入することはありませんが、養鶏場には、注意喚起のため改めて通知します。</p> <p>臭気の問題につきましても、岐阜県の臭気対策事業や農林課のアンモニア定期測定によりその都度養鶏場に対して指導し、環境改善に努めてまいります。</p>			

地区名	瑞浪地区（寺河戸等）	番号	1
タイトル	駅周辺のまちづくりについて		
ご意見の内容			
<p>駅の北側と南側は、駅、線路で分断されている。これをうまくつなぐことで、開発がよりうまく進んでいくと思うが、そのような計画はあるか。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課	
<p>計画当初から、北と南をつなぐことについて意見はありましたが、それを実施するためには、大きな予算が必要となるため、あまりにも負担が大きくなります。負担が大きくなる方法として、瑞浪駅北口に改札を設置することで、駅を利用する方が北側にも南側にも移動できるようにし、北側と南側をつなぐ新たな機能を導入したいと考えます。</p> <p>また、現在の地下自由通路につきましても、より安心して快適に利用していただけるように、内部や出入り口の改良を検討していきます。</p>			

地区名	瑞浪地区（寺河戸等）	番号	2
タイトル	建材費や人件費の高騰による事業への影響について		
ご意見の内容			
<p>本日説明のあった事業について、大きな費用がかかる事業ばかりである。計画が進む中で建材費や人件費のさらなる高騰が進んだ場合、計画している事業については、予定通り進めるのか、縮小するのか又は取りやめるのか。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課 都市計画課 警防課 クリーンセンター	
<p>新病院の建設については、すでに物価高騰の影響が出ています。12月頃に最終的な建設費用が決まってくると思いますが、その費用が予定より上昇した場合は、瑞浪市、土岐市、JA岐阜厚生連にて、負担することとなります。</p> <p>駅北整備事業についても、国からの支援を得ながら、進めていきます。物価の高騰により、事業を止めて数年後に実施する場合、数年後に物価が安定している保証はありません。今なら瑞浪市に財政的な体力もあり、南地区については参加される地権者や組合の方にも体力があります。また、国や県からも支援が得られます。仮に事業を止め、10年後に再度行うことにした場合、同じように事業ができるかはわからないため、今実施すべきではないかと考えます。</p> <p>瑞浪市は、この16年間にわたり、行財政改革を行い、実施すべき事業は予算を確保して実施しながら、瑞浪市が抱えていた市債を百数十億円削減してきました。これは、次の大きな投資を見据えて行ってきたものです。そのため、新たな投資を行っても財政的に耐えうるだけの財政基盤ができているということをご理解いただきたいです。</p> <p>消防指令センターについては、5市で共同運用することで、通信指令システムに係る経費を削減することができ、大きな安全が確保できます。広域連携は、未来に向けて備えた行財政改革の大きな柱になります。</p> <p>ごみの焼却場について国は、人口5万人以下の自治体の焼却場の建て替えに対しては、補助金の対象にしない方針であります。そのため、瑞浪市は、多治見市や土岐市に対して、一緒に建て替えを行うように働きかけており、3市の市長の取り決めの中では、その方向で意思確認はできています。</p>			

地区名	瑞浪地区（寺河戸等）	番号	3
タイトル	ごみの焼却場の広域化と電源立地交付金について		
ご意見の内容			
<p>ごみの焼却場の広域化は、どの組織が実施していくのか。東濃西部広域行政事務組合で行うのか。</p> <p>これまで瑞浪市は、電源立地の交付金を使って政策を実施してきたが、今後はその交付金がない。使える財源が少なくなることについて、どう考えるか。</p>			
市長の回答	担当課	クリーンセンター 総務課	
<p>東濃西部広域行政事務組合は、瑞浪市、土岐市、多治見市の3市で、狂犬病の予防接種等の市民サービスの維持を目的に負担金を出し合って設置されている組織です。この東濃西部広域行政事務組合にて今年度、どの程度のゴミが出るのか、どの程度の施設が必要となるのかについて調査を行います。調査結果を踏まえて、3市で共同で建設することになった場合は、今後議論をしていく中で、どのような組織で行うかを検討していきます。</p> <p>電源立地の交付金については、瑞浪市が高レベル放射性廃棄物の地層処分について、市有地等にて日本原子力研究開発機構が20年間研究を行ってきました。研究は終了し、大きな成果がありました。将来、日本のどこかに最終処分場が建設される際には、瑞浪市で研究した成果が活用されます。このような研究施設を瑞浪市が受け入れたことで、原子力行政に協力した自治体に交付される交付金が瑞浪市に対して、21年間交付されてきました。</p> <p>ただ、この交付金はいずれ交付されなくなるとの考えのもと、交付金を活用して事業を進める一方で、市債（市の借金）の繰上償還や基金への積立てを続けてきました。そういった行財政改革を行う中で、100億円以上の市の借金を削減することができました。決して余裕があるわけではないですが、交付金がなくなったために成り立たないような厳しい財政状況ではないので、ご安心いただきたいです。また、必要な事業はしっかり予算確保して実施しています。</p>			

地区名	瑞浪地区（寺河戸等）	番号	4
タイトル	瑞浪駅周辺の計画について		
ご意見の内容			
<p>説明のあった駅周辺の計画については、市民から要望があったものか。 また、この政策については、何を持って評価するのか。 加えて、文化センターや図書館機能が駅前の施設に移動した後、既存の文化センターや図書館の施設はどうなるのか。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課 企画政策課	
<p>地元の自治会、商店街やこれまでの市民アンケート等で要望を受けています。 事業評価の判断材料としては、施設の利用者数が一つの目安となります。市議会においても事業評価をしていただきます。想定より利用者数が少ないようであれば、改善をしなければいけないと考えています。市民の皆さんが毎日でも行きたくなるような施設にしたいです。文化センター機能や図書館機能は、同規模のものではなく、人口減少を見据えた規模のものとなります。その中でも先進事例を参考としながら魅力のある施設にしたいと考えています。 既存施設の後利用については、現時点では具体的に考えていませんので。今後検討していきます。</p>			

地区名	瑞浪地区（寺河戸等）	番号	5
タイトル	本日の説明の全般について		
ご意見の内容			
<p>新病院建設については、やむを得ないと考える。理由として、医者の確保について単独市では確保できない。また、土岐市では、医者の給料を支払うため、財政的に厳しいと聞いている。中核病院に医者が来てもらえるのは、研修の環境が整っているためと考えている。その環境も単独市では、厳しいと考えるためである。後利用についてであるが、新病院建設後に、現在の東濃厚生病院の検査棟にて、現在土岐市の駄知町の診療所で行っている休日診療所機能を引き受けてはどうか。</p> <p>駅北の複合施設に市民が何を求めているかについて、アンケート等を実施しているのか。駅北と駅南は、分断されていると感じる。本日の説明の中で、駅北に改札を設置するとの説明があったが、学生や通勤等で駅を利用する方に影響があるだけで、駅の利用者でない場合、現状と変わらないのではないかと。よりよい方法で駅の北側と南側が繋がるとありがたい。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課 都市計画課	
<p>休日診療所は、新病院の敷地内に設置する予定です。</p> <p>駅北の複合施設の機能については、市民のニーズを既に聞いています。今後も意見があれば、反映できる意見は反映していきたいと考えています。車利用者の駅北と駅南の接続については、駅の西側の踏切については、既に拡幅しているのでご利用ください。</p>			

地区名	瑞浪地区（寺河戸等）	番号	6
タイトル	タクシーの利用について		
ご意見の内容			
<p>瑞浪市では、タクシーの利用がしづらい。タクシーの利用に対して補助金を出して、夜の遅い時間でもタクシーが利用できる環境になるとよい。また、新病院もできるので、病院に行く方のタクシーの利用に補助金を出してはどうか。何とか、タクシーの利用ができるようにしてほしい。</p>			
市長の回答	担当課	商工課	
<p>タクシー事業者の経営方針でタクシーよりもバス事業を主力とし、夜のタクシーについては早めに切り上げるような営業形態にされた事業者もあります。そういったこともあり、夜のタクシーが少ない状況です。日中については、コミュニティバスやデマンドタクシーがあります。また、新たな交通システムを検討するため、協議に入っています。ただし、夜については、なかなか希望に答えられない部分がありますので、課題として、受け止めています。</p>			

地区名	稲津地区	番号	1
タイトル	老人憩の家（寿楽荘）のインターネット環境の整備について		
ご意見の内容			
<p>現在、稲津長寿会はカラオケ部を作り、老人憩の家（寿楽荘）において活動しています。</p> <p>カラオケを通じて健康長寿を全うするため、また、認知症予防などに日々努めています。</p> <p>しかし、社会福祉協議会の備品は老朽化しており、現在は、個人所有のカラオケ器具を利用していますが、この機械もすでに老朽化して故障するなどの状況にあり、カラオケメンバーも減少の傾向にあります。</p> <p>こうした中、近頃はパソコンによるカラオケが普及しており、専用のカラオケ機器を購入することなく利用できる上、新しい曲等の取り入れも容易にできるため、老人憩の家（寿楽荘）のインターネット環境の整備を切にお願いするものであります。</p> <p>今後も健康で楽しく老後が暮らせるよう、また多くの仲間づくりの観点からもお願いいたします。</p>			
市長の回答	担当課	高齢福祉課	
<p>健康長寿の推進、認知症に関する取り組みは、本市の高齢者福祉施策の重点施策となっています。積極的に取り組んでいただいていること、大変素晴らしいことであると感じます。</p> <p>市内3箇所にある老人憩いの家でも様々な介護予防事業を行っていますが、時代の流れとともに事業を展開していくことは必要であることから、フリーWi-Fiが利用できるインターネット環境の整備を進めます。</p>			

地区名	稲津地区	番号	2
タイトル	モノより心 駅北開発への疑問		
ご意見の内容			
<p>私の息子（40歳）に、「今までで一番良かった舞台は何？」と聞くと、間髪入れずに答えるのは劇団こまつ座 井上ひさし『11匹のねこ』です。いつもお腹をすかせていた野良猫たちが、ユートピアを求めて大冒険の旅に出る。お腹をいっぱいにする目的を果たしたその後は・・・？登場人物が「ネコ」で、痛烈なメッセージも「言葉遊び」と「音楽に乗せて」語られることで、俯瞰的に楽しめるすばらしい舞台でした。私たち親子にとってかけがえのない時間が持てました。こんな素晴らしい経験が得られたのは、瑞浪総合文化センターがあったおかげです。『11匹のねこ』以外にも、素敵な思い出はいっぱいあります。その文化センターがなくなり、400席のホールに建て替えるとは・・・暴拳としかいえません。400席では、キャパが小さくて、上演できるものは限られます。名古屋などの大都市に出かければよいではないかと言われそうですが、問題は、文化を大切にする風土が瑞浪にあるのかということです。第6次瑞浪市総合計画には以下のような記述がありました。（二つ） 400席のホールは、この計画に沿っていません。今の総合文化センターは耐震工事したばかりなのに、SDGsの観点からも納得できません。また「これまでの検討」に明記してある市民のみなさんのご意見・ご要望が、偏狭な気がしてなりません。</p> <p>駅北開発のテーマと直接関係はありませんが、通所型サービスB稲津いなほの活動をこの4月より始めました。身近に高齢者の方と接すると、今の自分は気が付かなかったさまざまな生活の困りごとが見えてきました。そんな情報を共有すること、困り感を共有する事が大切だと思います。困っていることをみんなで共有する場に行政の人たちに入ってもらって、要望したり要望を受けたりする関係ではなくて、いっしょに暮らしをつくっていくという関係ができるといい。アンケートや意見交換会だけでは見えてこない市民の願いがわかるはずです。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課	
<p>満席になるイベントは消防団の入退団式や、成人式などがありますが、参加される人員に鑑みると400席あれば足りると判断します。また、現在と同規模の大きいホールを建設すれば、その分建設費がかかりますし、その後の維持・管理費も多額となります。瑞浪市の人口規模や人口減少社会に鑑みて、使い勝手が良く、稼働率が上がるような施設を建設します。</p> <p>新しい施設では、より身近に文化芸術に触れて頂き、文化活動や市民活動の輪が広がるような施設整備と運営を目指しており、多くの方が訪れる複合施設の中で、開放的に使えるホールや貸室とすることにより、文化活動・市民活動が目にとまりやすくなると思います。小規模でも多くの催しや発表会等が活発に開催されることで、文化芸術に触れるきっかけとなります。このように、施設の大きさではなく、使い方・使われ方を工夫し、これからも多くの人に素晴らしい体験や思い出を作って頂きたいと思っております。</p> <p>なお、令和4年度に実施した工事につきましては、利用者の安全に支障がある部分について、必要最低限の補強工事を実施したのみで、これにより施設全体の長寿命化を図ったものではありません。</p>			

地区名	稲津地区	番号	3
タイトル	新病院の経営の見通しについて		
ご意見の内容			
<p>東濃厚生病院ができる前の昭和病院や、新病院に統合する土岐総合病院には、東濃厚生病院にはない小児科や産婦人科があり、たくさんの患者がいた。ところが現在は患者が減り、医師も減り、寂しい病院となってしまった。また、市内の塚田レディースクリニックが産科を辞め、市内では子どもを産むことができなくなってしまった。</p> <p>このような現状をどう受け止めるか？また、新病院はそういったことが起きない見通しはあるのか？</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>都市部の大きな病院とは違い、地方の病院は医師不足が顕著です。また、医療機器も高額なものが増え、地方の病院では揃えることが難しくなっています。そのような環境では、医師の確保も難しいのが現実です。</p> <p>医師が確保できないのは、様々な要因がありますが、ある程度の規模の病院を作ることによって、医療提供体制の充実を図ることができます。</p> <p>現在、新病院の医師の確保のため、JA岐阜厚生連のネットワークを使いながら、名古屋大学や他の医局にも声をかけている段階です。必要な医師数を確保できるように、今後も働きかけを継続していきますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>【補足】 東濃厚生病院と土岐市立総合病院の統合により、医師確保を含め、将来にわたり継続的・安定的な医療提供が可能であると認識しています。市内で分娩を取り扱う医療機関はなくなりましたが、新病院では産婦人科医の確保の目途も立っています。統合後の新病院では診療機能の強化が図られ、東濃中部圏域から流出している患者も地元で診療できるようになると期待されます。</p>			

地区名	稲津地区	番号	4
タイトル	市政直行便について		
ご意見の内容			
<p>患那市の広報には、市民の意見を聞くためのはがきが毎月折り込んであり、匿名でも、要回答でも、誰でも簡単に投稿できるようになっている。市民からの幅広い意見を聞くため、このような方法を考えてみてはどうか？</p> <p>瑞浪市では、市役所の入り口に投函するための箱が設置されているが、実際にどのくらい利用されているのか？また、市民から寄せられて意見やそれに対する回答について、公表はされているか？</p>			
市長の回答	担当課	企画政策課	
<p>瑞浪市では、市政直行便として、令和4年度は約50件の意見をいただくなど、年間に数十件のご意見をいただいております。意見の集約方法については、市役所や総合文化センター、コミュニティーセンターに設置している市政直行便の箱または、市ホームページの市政直行便フォームから問い合わせをいただく形を取っており、寄せられた意見や回答の一部を広報みずなみにて紹介しています。</p> <p>私が市長になった当時「市民と行政の協働のまちづくり」を掲げて当選しました。地域の課題を解消するため連携を取り、一緒になって地域の活性化に取り組んでいきたいと考えております。そのため、市役所へ意見や考えを言いに来てください、というのではなく、市長と語る会のように、地域へ出向いて意見を直接伺う機会を大切に、皆さまの意見をしっかりと受け止めてきました。市主催の市長と語る会は12箇所で開催していますが、それ以外にも経済団体やスポーツ団体、医師会や青年会議所など、様々な団体から開催要望を頂き、年間50～60回ほど地域へ出向いてきました。</p> <p>また、かしくまった場では発言しにくいですが、もっと市民の生の声を聞いて欲しいという意見もあるため、時間が許す限り各地区のイベント等に参加し、直接、市民の意見を受け止めてきました。そのような場も大切な機会として、しっかりと市民の声を受け止めていきたい、忌憚ない意見を聞かせて欲しいという気持ちで市政にあたっていきたいと思っています。</p> <p>中学校の統合については、日吉町在住の子育て世代の母親からお声がけいただき、直接伺ったことがありました。そこで「瑞陵中学校に通いたい。日吉中学校には通わせたくない。」という意見が出て、すぐに教育委員会に連絡をしました。その後、学区制審議会を立ち上げ、学校について検討を行ったところ「小学校は統合してほしくないが、中学校は統合してほしい」という意見が多数上がり、中学校の統合へとつながりました。時代の流れや、子どもの数が減っている現実に見合うような教育環境を整えるため、すぐに行動に移しました。</p> <p>このように、市長と語る会などで皆さまからいただいた意見は市政に反映させていただいております。今後も市民の皆様と一緒に話し合っ、より良い瑞浪市をつくっていききたいと思っていますので、よろしくお願いたします。</p>			

地区名	瑞浪（小田）地区	番号	1
タイトル	東濃厚生病院の後利用について①		
ご意見の内容			
<p>東濃厚生病院には、陶町、恵那市武並町、明智町など遠方からの利用者もあり、新病院まで行くのは大変なので、診療所機能を残してほしい。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>東濃厚生病院の後利用について、現在、JA岐阜厚生連、瑞浪市、恵那市の3者で協議をしておりますが、診療所機能を残すことについては、JA岐阜厚生連に要望しております。</p>			

地区名	瑞浪（小田）地区	番号	2
タイトル	新病院の待ち時間について		
ご意見の内容			
<p>東濃厚生病院で検査をした際に、10時からの予約で全てが終わったのが14時30分だった。新病院では、東濃厚生病院より患者数が増えると思われ、病院への移動時間も増えることを考えると、少しでも待ち時間が短くなるよう検査機器の数などを、患者数に合わせた整備をしてほしい。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>新病院に勤務する医師が増えれば、待ち時間の解消につながると考えます。まずは新病院の医師確保に力を入れていきます。</p> <p>【補足】 待ち時間の短縮については、予約システム等の機器の導入を図るとともに、薬の処方を出外処方にする等の対応を検討しています。また新病院の推計外来患者数に見合う医師を始めとした医療スタッフの人材確保に力をいれていきます。</p>			

地区名	瑞浪（小田）地区	番号	3
タイトル	東濃厚生病院の後利用について②		
ご意見の内容			
<p>東濃厚生病院の後利用として診療所を要望していくとのことだったが、市内には小児科専門医が少ないため、診療所に小児科を入れてほしい。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>新病院で小児科医師を多く確保できれば、診療所に小児科の医師に来ていただける可能性もあるかもしれません。小児科医をより多く確保できるよう要望していきます。</p> <p>【補足】 現在の東濃厚生病院の施設の活用について、診療所などとして活用いただけるようJA岐阜厚生連との協議を恵那市とともに進めています。診療所を開設する際の具体的な診療科については、新病院においての医師の確保状況などを踏まえ、今後協議されるものと認識しています。</p>			

地区名	瑞浪（小田）地区	番号	4
タイトル	病児・病後児保育の場所について		
ご意見の内容			
<p>現在、東濃厚生病院に隣接している場所で病児・病後児保育を行っているが、診療所として後利用する場合に、病児・病後児保育は残るか。</p>			
市長の回答	担当課	子育て支援課	
<p>病児・病後児保育については、新病院付近に移転することを素案として、JA岐阜厚生連、東濃中部病院事務組合、土岐市役所と協議を進めています。また、より利用しやすいサービス内容とすることを検討しております。</p>			

地区名	瑞浪（小田）地区	番号	5
タイトル	幼稚園・小学校の立地について		
ご意見の内容			
<p>桔梗幼稚園、竜吟幼稚園、みどり幼稚園、土岐小学校は、川の近くに立地しており、川が増水した場合に危険である。また、土岐小学校、桔梗幼稚園の前の道路は通学路になっているが、道が狭く危険である。今後建て替えの際に、移転は考えているか。</p>			
市長の回答	担当課	子育て支援課	
<p>施設の建て替えの際には、防災は最重点課題として検討しています。先ほど述べられた現在の施設について、大雨などの場合は早めの避難対応を行っています。市からも市民の皆さんが避難等の判断ができるよう情報を提供していきます。</p>			

地区名	瑞浪（小田）地区	番号	6
タイトル	新病院の設備について		
ご意見の内容			
<p>ヘリポートは屋上ではなく地上に作って欲しい。 病院での待ち時間が長いとイライラしてしまう方もいるので、新病院の待合ではリラックスできる音楽を流してはどうか。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>基本設計では、ヘリポートは屋上に設置することになっています。 待ち時間中の音楽については要望として、東濃中部病院事務組合に伝えます。</p>			

地区名	瑞浪（小田）地区	番号	7
タイトル	東濃5市消防指令センターについて		
ご意見の内容			
<p>消防通信指令業務を広域で運用することは重要だが、消防指令センターは通報を受け各消防署へ指示するだけで、実際は各消防署が今までの様に現場へ行って判断ということになると思うが、どのように考えているか。</p> <p>通信指令システムは10年ごとに更新されるが、切り替えがスムーズにいくようにしてほしい。また、全国的に広域での取り組みは珍しいと思うので、他市から視察等に来ることが想定されるので、そういった対応ができるようにしてほしい。</p>			
市長の回答	担当課	警防課	
<p>消防指令センターが東濃5市の災害情報を把握し、各消防署から出動する緊急車両を管理することで、初動体制及び応援体制の強化を図ることができます。消防業務全般を広域化するものではないため、火災・救助・救急等の現場活動は、これまでどおり各市の対応となります。</p> <p>通信指令システムは、10年程度で更新が必要になることから、平時は会議・研修・見学者対応をする部屋を更新スペースとして設け、当初の指令室と入れ替えることを想定しています。新システム設置後に既存システムを撤去するため、業務を継続したまま円滑に切り替えることが可能です。</p> <p>また、消防通信指令業務の共同運用は、岐阜県内では初の事業になるため、他市からの視察を考慮し、指令室には見学窓を設ける設計となっていますので、適切な対応ができるものと考えています。</p>			

地区名	明世地区	番号	1
タイトル	瑞浪市内の活性化について		
ご意見の内容			
<p>瑞浪駅周辺に楽しめる施設がない。駅周辺が活性化されるよう人が住めるよう、例えばマンションがあると良いと思う動する手段がない。駅周辺にマンションを作って欲しいと思う。</p> <p>また、関市は、サウナで町おこしをしていると耳にした。市外から人を呼ぶための楽しめるところがあると良い。併せて、ボーンポークや地酒等、地元の特産品を売り込める施設があると良いと思う。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課 商工課	
<p>瑞浪駅周辺再開発に合わせ、駅南側の市街地再開発事業ではマンションの建設を予定しています。</p> <p>瑞浪市に楽しめる施設があれば良いと考えますが、役所でお店を開くことはできません。そこで、瑞浪市は市内で事業を始める方を対象に、「瑞浪市新たな事業チャレンジ支援補助金」として最大500万円の補助金を交付し、創業を支援する制度を設けています。既に60件程の方が活用されています。</p>			

地区名	明世地区	番号	2
タイトル	バスの運行について		
ご意見の内容			
<p>コミュニティバスについて、月吉から瑞浪駅に行くバスが朝9時頃にあるが、瑞浪駅から月吉に帰るバスは夕方4時頃にしかない。昼12時頃に帰って瑞浪駅から月吉に帰って来ることができるバスの増便を要望する。</p> <p>瑞浪北中学校に通う生徒について、ほとんどが自転車通学では無く、親が送迎している。日吉町へはスクールバスが出ているので、明世地区在住の生徒も乗車できるようになれば親の負担が減ると思います。</p> <p>また、土日も運行するようなバスがあるともっと利用しやすくなると思う。</p>			
市長の回答	担当課	商工課	
<p>公共交通については、市としても課題と捉えています。今年度、新しい公共交通体制の検討をしているところです。市内には、コミュニティバス、スクールバス等、様々な種類のバスが走っており、乗車人数が少ない便もあります。スクールバスには児童、生徒しか乗れないなど、乗車できる方に制限があるため、その制限を超えて自由に乗ることができないか等国が検討しているところです。市もその動向を注視しながら、現在、公共交通体制の検討をしています。</p> <p>また、コミュニティバスについては、運行時間や停留所等を地域の実情に合わせるため、毎年調整することができる瑞浪市地域公共交通協議会という会議において地域の要望を踏まえて調整を行っています。</p>			

地区名	明世地区	番号	3
タイトル	狭間川公園の整備について		
ご意見の内容			
<p>狭間川公園の整備を3、4名のボランティアでやっている。とても広い公園であるため、市に整備をお願いしているが、予算がない等と対応していただけない。避難所にもなっている公園であるため、いざ災害があったときには、草が繁茂しているところに避難しないといけないこととなる。また、子どもたちが草の中で遊んでいるのを見ると心を痛める。</p> <p>市はどのように狭間川公園を管理していくのか。市と区と組が公園の管理を持続的に行えるようしていただきたい。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課	
<p>都市公園の管理は市が行いますが、狭間川公園をはじめ多くの公園がありますので、しっかりと予算を組んで、計画的に草刈りをしています。狭間川公園については、年2回の草刈りをしています。改めて担当課に確認し、説明させていただきます。</p> <p>また、瑞浪市は里親制度を設けており、道路や公園を地元で管理いただく代わりに、その管理に必要な燃料や草刈りの刃等の物品の支給や貸与を行っています。現在、団体を含め約3000人に活動していただいていますので、この制度が少しでもお役に立てれば良いと思います。</p>			

地区名	明世地区	番号	4
タイトル	緊急車両の通行状況の通知について		
ご意見の内容			
<p>各家庭が所有する車のカーナビに緊急車両の通行状況を表示することはできないか。運転中、サイレン音だけではどこから来ているのか判断できない。</p>			
市長の回答	担当課	消防総務課	
<p>一部のカーナビゲーションシステムにはそのような機能がありますが、緊急車両にシステムに対応する発信器をつける必要があり、皆様には対応するカーナビゲーションを購入していただく必要があります。</p> <p>現在、全国でもごく一部の緊急車両への設置にとどまっており、県内で運用している自治体はありません。そのため、本市が運用を開始したとしても、市をまたいで救急搬送する他市の救急車ではシステムが反応しない等の事案もあり得ます。</p> <p>本市としましては、全国、県内の普及状況を注視しつつ、従来どおり交差点や渋滞中の道路では、音声で緊急車両の通行をお知らせし、安全運転に努めてまいりますのでご理解、ご協力をお願いします。</p>			

地区名	明世地区	番号	5
タイトル	東濃厚生病院の後利用について		
ご意見の内容			
<p>市内から大きな病院がなくなることは寂しいと感じる。東濃厚生病院の後利用として、将来開業したいと考える医者を1フロアに集め、様々な科の病院を運営してもらおう。建物は市が管理するのはいかがか。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>JA岐阜厚生連としても医師の確保が難しいこと等から、新病院の建設を進めた経緯があります。提案は面白いと思いますが、東濃厚生病院は、JA岐阜厚生連が所有する土地、建物なので市が管理することはありません。</p>			

地区名	明世地区	番号	6
タイトル	自治会加入促進施策について		
ご意見の内容			
<p>近年自治会に入らない、やめる方が多くいる。土岐川清掃などボランティアに参加された方が損をしないように、ポイント制を採用し、何か参加された、地区の役員をやられた方に還元できる仕組みはできないか。</p>			
市長の回答	担当課	市民協働課	
<p>他の地区でも自治会への加入が課題となっています。市は自治会活動の意義を広報し、自治会加入を促進していますが強制はできません。ボランティアとしてやられた方にクーポン券を渡す等は現在考えていません。</p>			

地区名	明世地区	番号	7
タイトル	ゴルフのまち瑞浪について		
ご意見の内容			
<p>兵庫県小さな町ではゴルフ場利用税が10億円あるとのことである。ゴルフのまち瑞浪市もより多くのゴルフ場利用税を得られるよう、中央道から見える位置に看板を設置する等してはどうか。</p>			
市長の回答	担当課	税務課 商工課	
<p>現在の瑞浪市ゴルフ場利用税は、1億7千万円程度（R4年度）です。ピーク時は平成5年度で4億円程ありました。ゴルフ場利用税はプレー料金により決まり、現在の市内の事業者はお値打ちにプレーできる料金設定をされています。また、高齢者や子供などのゴルフ場利用税を免除しているため、現在の税収となっています。</p> <p>現在、ゴルフのまち実行委員会がスナックゴルフの普及等、一生懸命活動いただいています。看板につきましては、市民体育館中央道側壁面にゴルフのまち瑞浪の懸垂幕を設置しており、引き続きPRを行って行きます。また、瑞浪市の観光大使である神谷そらさんの力を借りながらゴルフのまちにふさわしい瑞浪市とします。また良いアイデアがあればご提案をお願いします。</p>			

地区名	明世地区	番号	8
タイトル	太陽光発電施設への対応について		
ご意見の内容			
<p>月吉地区に大規模な太陽光発電施設の建設をしている。その結果、雨が降ると付近の道路舗装から水が吹き出すようになっており、危険であるため対応できないか。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課	
<p>地域の方々から要望を受け、事業者と協議を行い、市で側溝の一部を改修をすることで対応させていただきました。しかしながら、まだ全体の問題解消に繋がってはいません。市としては事業者に改善を訴えるしかありませんが、法律や条例に違反するものについては事業者に改善を求めています。</p>			

地区名	明世地区	番号	9
タイトル	令和6年瑞浪市二十歳の祝典について		
ご意見の内容			
<p>令和6年瑞浪市二十歳の祝典に、瑞浪市観光大使で麗澤瑞浪高等学校出身の神谷そら選手に出席いただいたら話題になると思うがどうか。</p>			
市長の回答	担当課	社会教育課	
<p>二十歳の祝典は基本的に出身中学校の自治体にて参加いただいていますので土岐市の中学校出身の神谷さんをお招きするのは困難です。 また、20歳になる若者一人一人が主役になる行事ですので特定の方に注目が集まることは好ましくないと考えます。 瑞浪市観光大使としてしっかり役割をお願いできるような行事を今後企画できれば、よりPR効果が高いのではないかと考えます。</p>			

地区名	明世地区	番号	10
タイトル	3館（化石博物館、陶磁資料館、市之瀬廣太記念美術館）統合再編について①		
ご意見の内容			
<p>瑞浪市民公園の周辺には多くの史跡があるが、現状活用されておらず、埋もれた状態になっている。化石博物館ほかの3館統合に併せ、周辺史跡を視野に入れた総合的な再整備を行政と地域が一体となって進めてはどうか。</p>			
市長の回答	担当課	スポーツ文化課	
<p>瑞浪市民公園の周辺には岐阜県史跡に指定されている戸狩荒神塚古墳、戸狩横穴群が所在しており、荒神塚古墳については史跡の所有者が市ということで年に2回の草刈りを実施して、見学者の利便性を確保するように努めています。</p> <p>これらの整備を行う場合には、史跡の保存状態や範囲等を確認するための発掘調査を行い、その結果に基づいて整備計画を策定する必要がありますが、現在のところ、これらの発掘調査を行う計画はありません。ただし、長期的には発掘調査・整備を行うことが望ましいと考えていますので、その際は所有者や地域の皆さまにご協力をお願いすることがあると思います。</p> <p>また、博物館には考古学を専門とする学芸員がいますので、見学に伴う現地解説などには積極的に応じていきたいと考えています。</p>			

地区名	明世地区	番号	11
タイトル	3館（化石博物館、陶磁資料館、市之瀬廣太記念美術館）統合再編について②		
ご意見の内容			
<p>現在、明世地区のまちづくりの拠点は、瑞浪市役所西分庁舎にあるが、やはり明世地域内にあったほうが良いと考える。3館統合により新設される施設または、閉館される施設の一部に、明世地区のまちづくりの拠点をつくってほしい。</p>			
市長の回答	担当課	市民協働課	
<p>地域における拠点として、より地域に近いエリアでのご要望があることは承知しております。将来的な地区支援機能の設置については、3館統合による新施設も含め今後も継続して検討してまいります。</p>			

地区名	陶地区	番号	1
タイトル	東濃厚生病院の後利用について		
ご意見の内容			
<p>新病院の建設については、たくさんの意見を地元で伺っている。陶町から新病院へ行くには瑞浪のまちなかを経由して行くことになる。高齢者にはとても大変な話である。</p> <p>こうした意味もあって、東濃厚生病院には、ぜひたくさんの診療機能を残していただきたい。高齢になると病院に通うことが増える。それぞれが色々な病気を抱え、幅広い検査機能も必要。色々な分野の医師を厚生病院に残していただくよう協議に臨んでいただきたい。</p> <p>また、市民はどういう形で協議に参加できるのか。今後その協議がどのように進むのかを聞きたい。</p> <p>本当に困っている。本気で臨んでいただきたい。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>JA岐阜厚生連より、医師の補充が困難であり、今後、病院の機能が維持できない状況となると聞いています。</p> <p>土岐市立総合病院と東濃厚生病院を統合し、より高度な機能を備えた新病院とすることにより、医師の確保に期待ができます。</p> <p>現在、JA岐阜厚生連のネットワークを生かし、新病院の医師の確保を進めていただいております。</p> <p>この地域に新病院という形で2次医療を残すことが、今後のためにも重要であると考えています。</p> <p>【補足】 東濃厚生病院の後利用について、JA岐阜厚生連、瑞浪市、恵那市で協議会を立ち上げ検討を進めております。JA岐阜厚生連には、診療所として一次医療を提供していただくよう強く要望しております。</p>			

地区名	陶地区	番号	2
タイトル	新病院へのアクセスについて		
ご意見の内容			
<p>先般の選挙の際、「誰もが新病院へ通院できる交通アクセスの確保」を訴えてみえた。誰もがとは、全ての方がという意味と捉える。</p> <p>瑞浪のまちなかを經由しなくても陶町から新病院へ通院できるシステムづくり可能ではないか。効率的な方法であると思うので、検討をお願いしたい。</p>			
市長の回答	担当課	商工課	
<p>国土交通省でも他分野の連携したシステムの検討に乗り出しており、さらにこの先に自動運転があります。既に実用化が進んでいるまちもあり、国土交通省には、自動運転レベル4の実証実験を瑞浪市でできないかを相談しています。また、現在、地域公共交通計画の策定中ではありますが、この計画をもって国土交通省に相談していきたいと考えています。</p> <p>ただし、これは長期的な話であるため、新病院が開院する際に、どうあるべきかは検討が必要です。ご意見を重く受け止め、今後も検討を続けていきます。</p>			

地区名	陶地区	番号	3
タイトル	陶町における若者の減少について（複式学級、学習支援）		
ご意見の内容			
<p>陶町では、小学生が30年前は333人。20年前は225人（34%減）。10年前は148人（34%減）、今、小学生が67人（54%減）。さらに10年進めば30人を下回るのではないかと。小学校の複式学級という話が出て、それならば他地域に出ていった方がいいという考えを持つ方が出てくることを心配する。釜戸町や日吉町でも同じ課題があると思う。</p> <p>また、一日中子どもを預かってもらえる施設が陶町にはないことも課題であり、過去に市に相談に行ったことがあるが相手にしてもらえなかった経緯がある。</p> <p>地元で学習支援を始めたきっかけは、子どもの勉強をみてもらいたいという親の希望があるからであり、これについても市に相談したことがあったが、まちなかではやっているが、陶ではできないという言い方で断られた。</p> <p>瑞浪駅周辺再開発事業に反対する。「未来の子どもたちに渡せるまち」とは何か（陶町がこのような現状であるのに・・・）。子どもたちがいなくなってしまう。これは若い世代もいなくなるとのこと。</p> <p>陶町に残ってもらえるような支援をすることの方が大事ではないか。複式学級にせずとも年間200万円あれば1人分の雇用により国語や算数などを個別に教えることができるはずである。釜戸、日吉、陶にその費用を費やしたとしても駅北に費やす費用より下回るはずである。</p> <p>これに関連してぜひアンケートを取ってほしい。駅北公共施設の整備を進めるのか、陶町の学校が複式学級にならないよう支援するのか。その上で事業を進めてほしい。</p> <p>また、高校生の通学費の課題についても、以前に相談したことがある。その際、考えましようと言ってくれたが、一向に何の話もない。550円のバス代のままであるが、恵那市は200円とした。恵那市の予算は2,000万円を実現したとのこと。多治見市も時間帯により200円としている。瑞浪市でもそれをすれば、陶町に残ろうと思う方も増えると思う。</p>			
市長の回答	担当課	総務課 企画政策課 学校教育課	
<p>市では全体で800もの事業を進めています。</p> <p>駅北複合公共施設について、5年ほど前に瑞浪市で「公共施設再編成プラン」をまとめました。必要な公共施設は残す、統合する、不要な施設は廃止するなどを検討しまとめたものです。その中では、将来、公共施設全体の床面積を30%減らすという目標を立てました。これについては、策定当時から市長と語る会でも丁寧に説明してきました。</p> <p>図書館や文化センターの今後の在り方についてもその中で計画したもので、必要な施設とし、今、建て替えの時期を迎えています。またこれらの施設は、土岐川沿いのため、ハザードマップでいう危険な区域です。こうした状況も踏まえ、別の場所に移すのかということ判断してきました。</p> <p>市長に就任した際、負債が312億円あり、基金が39億円という状況でした。以降、行財政改革を進める中で、必要な事業を手掛けてきました。現在では当時より111億円もの負債が減り、基金は約78億円あります。次につなげていくための投資としてその準備をしてきました。</p> <p>市では、総合的に考えて必要な事業を選別しながら進めていることをご理解いただきたいです。</p> <p>陶町だけでなく市全体の課題として複式学級になったときに、どんな体制であるべきかは持ち帰って考えたいです。</p>			

地区名	陶地区	番号	4
タイトル	瑞浪駅周辺再開発事業について		
ご意見の内容			
<p>瑞浪駅に降りた人が、瑞浪をどんなまちだと思うか。 少なくとも分譲マンションや複合公共施設ではないのではないか。 降りたときに何も感じられないものを作っても意味がないと思う。どんな想いを もって開発事業を進めているのか。 駅前で魅力を感じられるようにしていただきたい。 外国人を取り込んでいく何かを取り入れていけないと思う。 また、陶町から瑞浪駅を利用する際は、駐車場を利用することが多い。 駐車場が少ないのは困る。文化センターや図書館で駐車場がつぶれるのは困るた め、利便性についても考えていただきたい。 何をするにも遠い。虐げられている感じがしてならない。瑞浪市は町民のために やっていただいたと思える何かを実現してほしい。大多数の人が満足できることを 行ってほしい。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課	
<p>魅力あるまちとなることを目的に、計画を進めているので、これから具体的に考 えていきたいです。市民の皆様のニーズや専門家の意見を聞きながら進めていきま す。いただいた意見はしっかりと受け止め事業にあたっていく。 駅北には、450～500台の駐車場を確保する予定です。また、駅北に改札を作る ためJRと協議し、利便性をあげるように進めています。 駅南の朝夕の混雑を何とかしてほしいとの意見をいただいています。駅北改札が 出来れば利用者が分散し、何割かは低減できると考えています。</p>			

地区名	陶地区	番号	5
タイトル	瑞浪駅周辺への瑞浪市観光協会の設置について		
ご意見の内容			
<p>瑞浪市観光協会を駅北複合公共施設に入れていただきたい。 まちのイベントも観光協会がPRしてくれているが、今のちやわん屋みずなみの位置に観光協会があってはアクセスする者はいない。 瑞浪駅に降りた人が、瑞浪市がどういうまちかを知るためには、駅前に観光協会があって機能するものである。 まちづくりは人づくりと考える。若手を育てるには人づくりが重要。これは市長の一声でやっていかないと、個々ではなかなか進まないものである。政策に入れていただきたい。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課 商工課	
<p>瑞浪市観光協会や観光情報発信機能を駅北複合公共施設に入れるかについては、今後の検討課題として受け止めます。 魅力ある駅周辺にするには、市役所だけではできません。民間企業に参加いただいて活性化するものだと考えます。産業界、経済界の方々が参入するなどの連携できれば、投資した費用がより生きてくると思います。 地域の皆様の要望をいただきながら一緒になって事業を進めていかないと瑞浪の活性化は進まないと考えます。 商工会議所とも連携して進めていきます。若い経営者の方が瑞浪市を良くするために提案をいただいています。瑞浪市の産業をどうするか、まちをどうするかを考えていただいています。人づくりについては、市として参加、協力していきたいと考えています。</p>			

地区名	土岐地区	番号	1
タイトル	農業法人が抱える課題の把握について		
ご意見の内容			
<p>瑞浪市には日吉営農・大湫営農・大川営農・とうぶ営農・ふかさわ・つちや営農の6農業法人があると聞いております。</p> <p>瑞浪市役所に問い合わせたところ、瑞浪市の経営耕地面積は322haで、内農業法人の経営面積は167haとのことで、耕地面積の52%を6農業法人が管理しています。農業法人の経営面積には農作業受託面積は含まれておらず、実際に農業法人が管理している耕地面積割合は更に増えることとなります。以上の状況から、瑞浪市の農地の維持管理には当該農業法人の存在が必要不可欠となります。</p> <p>しかしながら、各農業法人は肥料・農薬の価格高騰、主食用米の価格低迷、若手農業従事者の不足、農繁期の期間農業従事者の確保、農業機械・設備の更新等、様々な課題を抱えており、課題内容もそれぞれの農業法人によって異なっていると思われます。このままで推移すれば、最悪の場合農業法人の経営継続が困難になる可能性があるかと危惧しております。</p> <p>そうなると耕作放棄地が増えてしまうことも考えられる。</p> <p>瑞浪市におかれましては、国や県と協調した様々な支援策を講じておられることと思っておりますが、各農業法人が抱える課題をどの程度把握しておられるのでしょうか？</p> <p>そこのお願いです。農業法人を訪問してそれぞれが抱える課題を聞き取りしていただきたい。そして聞き取りした課題を整理して、行政として支援できること、提案できること、指導できることを明確にしたうえで農業法人に回答できる体制を構築していただくようお願い申し上げます。</p>			
市長の回答	担当課	農林課	
<p>土地改良ほ場整備に関して、希望があった場合、国や県より補助金をいただきながら効率の良いほ場整備をしてきたと考えています。</p> <p>農林課では、次年度補助事業の要望調査時に営農組合を訪問し、農業機械、設備の更新予定や市への要望等の聞き取り調査を行っています。また、肥料の価格高騰対策など国や県の緊急対策事業創設時においても、その都度営農組合に対して制度説明や事業の活用等について確認を行っているところです。</p> <p>加えて、営農組合の構成員の方には農業政策の方針等を決定する協議会の委員にも委嘱をさせていただき、課題や要望等について発言していただく機会も設けています。</p> <p>まだまだ不十分な点があるのでしっかりとした頻度で連携を取っていきたいと考えています。</p> <p>引き続き、こうした機会を通じて、各法人の状況を把握し、行政としてできる支援を行っていきます。</p>			

地区名	土岐地区	番号	2
タイトル	堤防通学道路の冬季夕方の照明対策について		
ご意見の内容			
<p>土岐川右岸堤防道路の桔梗幼稚園前から中央橋までの区間約500mについては、土岐小学校の通学路でありながら照明施設がありません。小学生の下校時間帯である夕方17時前後について、とりわけ10月下旬から1月中旬までの通行については、小学校については学校を出たら速やかに帰宅するよう学校から指導されているようですが、安全性を不安視する声があります。この問題については、コロナ禍となる以前に防犯灯等の設置を要望した経緯がありますが、道路とはいえ河川堤防であることから工作物は設置できないという回答を貰っています。</p> <p>しかしながら、LED照明やソーラーパネル充電等の技術の進歩は著しいものがあり、堤防の路肩に工作物を設置するのではなく、路肩に「置く」という形態のみで何らかの照明ができる時代になっていると考えます。この区間については、自家用車の幼稚園児の送迎があり、中学生・高校生が自転車で下校したり、ウォーキングされる住民も多いことから、交通安全については一層の注意を払うべき区間と言えますし、また、背の高い葎が繁茂する川原を考えると防犯上からも注意すべき区間であると考えます。</p> <p>私たちまちづくり組織も、青色回転灯パトロール活動が子どもたちの見守り活動でもあるという認識から、週1回下校時に合わせて巡回しておりますが、ぜひ再度照明施設の検討をお願いしたいと考えます。</p>			
市長の回答	担当課	生活安全課	
<p>防犯灯等の設置については、自治会がLED防犯灯を新規設置する場合は、補助金（補助率1/2）として支援させていただいております。ただし、取り付けるためのポールや電柱等がない場合は、要望された自治会においてポール等を整備していただいております。また、設置後の電気料金などの維持管理費用についても、各自治会にてご負担をお願いしております。</p> <p>ポール等の設置や置き型の照明の設置に関する費用的な支援については、地域の課題解消の財源として「夢づくり地域交付金」の活用ができる可能性があります。最大300万円まで補助します。1年ではなく、2年にわたる事業も可能なので、まちづくりの事業として市民協働課までご相談ください。</p> <p>また、設置に伴い河川占用申請や、道路占用申請が必要となる可能性がありますので、設置される場合は土木課までご相談下さい。</p>			

地区名	土岐地区	番号	3
タイトル	農産物等直売所「きなあた瑞浪」の今後の活用について		
ご意見の内容			
<p>「きなあた瑞浪」は今後どのように発展していくのか。土岐町民として、「きなあた瑞浪」がもっと利用される施設になることを願っている。</p> <p>6月にオープンしたバーベキュー広場の利用状況はどのようなか。利用料金が高く感じる。価格がもう少し安くなれば、利用される方が増えるのではないか。</p>			
市長の回答	担当課	農林課	
<p>瑞浪市農産物等直売所「きなあた瑞浪」は、市の農業の振興、地産地消の推進、地域の活性化を目的に整備した施設で、平成24年6月にオープンしました。また、施設の更なる利用拡大に向けて、令和2年度には「ポーノポークハム工房“瑞浪”」、今年度には「バーベキュー広場」「体験農園」を整備しています。運営は指定管理者としてみずなみアグリ株式会社さんをお願いしています。</p> <p>この農産物等直売所は年間約50万人の方が来場される市の観光拠点でもありますので、地域の皆様はもとより、市外、県外など多くの方々に利用していただける魅力のある施設としていく必要があります。</p> <p>メニュー内容や価格などは、施設の管理・運営を行う指定管理者が設定しており、利用時にアンケート調査を実施しています。市としましては、指定管理者の実施したアンケートを確認する中で、メニュー内容や価格等について、利用される方のニーズにあったものとするよう指導していきます。</p>			

地区名	土岐地区	番号	4
タイトル	新病院について		
ご意見の内容			
<p>始めに私見として、JA岐阜厚生連が土岐市立総合病院の建替えに伴って東濃厚生病院を閉鎖することは経営上止むを得ないことと考えますが、統合について市から市民への事前の説明、周知の進め方については非常に不満に思っています。</p> <p>さて新病院について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児科、産科、婦人科常設のための医師の確保は出来ているか ・市の予算で、これまでの東濃厚生病院への補助に比べて今後はどうなるの見込んでいるのか、また、新病院の建物の修繕費、増設費用の負担はどうなるのか ・アクセスで、土岐町民は今はコミュニティバスで乗り換えなく東濃厚生病院にいけないが今後はどうなるのか ・病院統合で事務系職員が過剰になると思うが雇用は確保されるのか 			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>【小児科、産科、婦人科常設のための医師の確保について】 本市と土岐市により新病院の設置主体として設立した「東濃中部病院事務組合」において、小児科、産婦人科の開設に向け準備を進めております。新病院建設基本計画において、小児科、産婦人科ともに「重点を置く診療分野・機能」に位置付けており、医局への強い働きかけなどにより医師確保の目途が立ち、開設が見込める状況であると認識しております。</p> <p>【市の予算について】 現在、東濃厚生病院に対し、公的救急病院運営補助として年間6千万円を支援しています。新病院建設について本市の負担は現在の支援額を大きく超えることはないと見込んでおります。</p> <p>【アクセスについて】 現在あるコミュニティバス路線を新病院まで延長することは考えておりません。本市の拠点と新病院を結ぶシャトルバスを運行することが現実的であると考えます。新病院への交通アクセスは重要課題であり、新病院の運営を担うJA岐阜厚生連と検討を進めてまいります。</p> <p>【病院統合による事務職員の雇用について】 新病院は指定管理者制度を活用したJA岐阜厚生連による運営となるため、職員の処遇についてはJA岐阜厚生連により行われます。</p>			

地区名	土岐地区	番号	5
タイトル	市の人口減について		
ご意見の内容			
<ul style="list-style-type: none"> 市報によれば、市の人口が3万6千人を切ってさらに減少傾向にあるが、アイシン誘致が人口減にどれほどの効果があったのか 市への移住増を見込んだとき、市内に総合病院がなくなることは大きなマイナス要因になると思うが、他に魅力的で具体的な施策はあるか 			
市長の回答	担当課	企画政策課	
<p>平成19年に市長に就任以来20社ほど企業誘致をしてきました。用意した工業用地はすべて埋まりました。釜戸中学校、旧陶小学校の跡地の企業誘致も完了しました。</p> <p>【(株)アイシン瑞浪誘致について】 (株)エイ・ダブリュ瑞浪(現(株)アイシン瑞浪)は、平成29年11月に設立し、多くの市内在住者を雇用され、瑞浪市での定住に貢献いただいております。 国立社会保障・人口問題研究所が、平成27年に推計した令和2年の瑞浪市の人口は、36,860人でしたが、令和2年に実施した国勢調査では、37,150人と約300人上回る結果となりました。また、令和4年度の社会動態に関しては瑞浪市は±0だった。上回った要因がすべて(株)アイシン瑞浪を誘致したことに起因しているとは言えませんが、一定程度効果があったと考えております。</p> <p>【魅力的な施策について】 ハード面では、瑞浪駅周辺再開発と瑞浪市道の駅の建設です。これら2つを整備することで、まちの活性化や賑わいの創出を図り、また、幅広い世代にとって暮らしやすく、住み続けることができるまちとなるよう計画を推進しています。 ソフト面では、令和6年度から18歳までの医療費の無償化、市内の幼稚園、保育園、こども園の給食費の無償化を予定しています。 子育て世代に対し、経済的支援を実施することにより子育てしやすい環境を整え、市外にもPRしてまいります。</p>			

地区名	土岐地区	番号	6
タイトル	市議会の現状について		
ご意見の内容			
<p>市議会議員選挙の無投票、議員の議会での発言について瑞浪市が名指しで新聞記事になりました。瑞浪市だけの問題ではありませんが、議員定数、市長支持派ばかりの市議会の現状をどう思うか</p>			
市長の回答	担当課	議会事務局	
<p>市長と市議会は、二元代表制のもと、それぞれが独立した機関として市政にあたっています。</p> <p>議員定数については、瑞浪市議会にて検討していると伺っています。</p> <p>市長の立場上、市議会における議員定数や会派に関するご質問にはお応えすべきでないと考えています。</p> <p>9月29日に一般の方向けに議会報告会があるのでご参加し、ご確認いただければと思います。</p>			

地区名	土岐地区	番号	7
タイトル	駅周辺再開発、道の駅について		
ご意見の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・駅前には本当に再開発が必要で再開発できると考えているのか ・道の駅は本当に必要と考えているのか 			
市長の回答	担当課	都市計画課	
<p>何もやらなければ市が発展していかないと考えており、将来を見通すことは難しいが必要なときに必要な事業をやることを考えております。</p> <p>議会や市民の皆さんの意見を聞きながら判断しており、瑞浪駅周辺再開発も道の駅も必要だと判断して進めております。</p>			

地区名	土岐地区	番号	8
タイトル	旧日吉中学校（現 日吉小学校）の建替えについて		
ご意見の内容			
<p>過去を振り返ったとき、例えば旧日吉中学校（現 日吉小学校）が建替え後20年を経たずして閉校となったことなどをどう思うか</p>			
市長の回答	担当課	教育総務課	
<p>旧日吉中学校については、当時昭和27年に建設された木造校舎の老朽化が進み、また、地震等で倒壊の恐れがあったため平成10年頃より改築を進める検討をはじめました。改築に際しては地元区長会をはじめ、地元で設立された日吉中学校建設協力委員会などにご協力を頂き計画を進めてまいりました。当時より児童生徒数の減少が懸念されていたため、議論を重ねたうえで日吉小学校の隣接地に小・中一貫校として改築することとなり、平成18年に新校舎が完成し移転いたしました。</p> <p>ところが、その間に市内の他地区においても児童生徒数の減少が進み、平成20年に開かれた学区制審議会において「小学校は各地域に残すが、日吉中学校と釜戸中学校と明世中学校、瑞陵中学校を統合して新中学校を設置する」との答申を受け現在のかたちとなりました。</p> <p>旧日吉中学校としては、小・中一貫校として改築して10年余りで瑞浪北中学校へ統合するという事にはなりましたが、その時々で最善の方策を皆さんの意見を伺う中で検討してきた結果であると考えております。</p> <p>なお、現在旧日吉中学校で使用していた校舎については小学校として転用改修し有効活用しています。無駄な投資ではないと考えています。</p> <p>現在、小学校についても学区制審議会を立ち上げて協議しておりますので、今後については、その結果を尊重していきます。</p>			

地区名	土岐地区	番号	9
タイトル	市長のこれまでの成果について		
ご意見の内容			
<p>五期20年で最大の成果は何だと思うか。</p>			
市長の回答	担当課	企画政策課	
<p>私一人の成果ではなく、いろいろな方々の協力を得て積み上げてきた成果だと思っています。事業成果の大小をつけることはできず、すべての事業が大きな成果だと考えています。どの事業も皆さんでつくりあげた成果です。</p>			

地区名	土岐地区	番号	10
タイトル	広域消防通信について		
ご意見の内容			
<p>現在、重度障害者で難病で治療中で救急要請をした事もあります。要請時に電話番号、目標物、処置方法等、話したりする時間にも病気の症状による呼吸困難で吸引を優先したいです。今後、特に広域消防通信になった時、説明するより登録を事前に行い、この電話番号から要請があれば聞き取り時に登録の内容かの確認で搬送先等全てが出来るようにならないか。</p>			
市長の回答	担当課	警防課 高齢福祉課	
<p>現在、事前にシステム登録し、通報を短縮するような体制にはなく、東濃5市による消防指令業務の共同運用時においても実現は厳しいと考えます。しかし、特別な対応が必要な方の情報は、出動時に確認し、救急隊とも共有しています。</p> <p>申し訳ありませんが、救急車を要請された方に適切な処置ができるよう、通報時には必要な質問はさせていただきますので、ご協力をお願いします。全ての質問が終わるまで救急車が出動しない訳ではありません。ロスが無いように出動していますので安心していただければと思います。</p> <p>また、健康状態に不安を持つおおむね65歳以上のひとり暮らしの方、身体障害者手帳3級以上のひとり暮らしの方、ねたきり高齢者をかかえる70歳以上の高齢者のみの世帯の方等には、あんしんネットワークシステムに登録していただき、ご自宅に通報装置を設置することで、非常ボタンを押すだけで消防署に通報することができ、生年月日、かかりつけ医等の質問を省略することが可能になります。当サービスの詳細につきましては、高齢福祉課へご相談ください。</p>			

地区名	土岐地区	番号	11
タイトル	乾電池や蛍光灯の収集場所の設置について		
ご意見の内容			
<p>乾電池や蛍光灯の収集場所を年に1回でもいいので、地域で設置する収集場所に収集に来ていただきたい。現在のクリーンセンター等の定位置での収集では、高齢の方が自分で持って行けず、誰かにお願いしないといけないので困っている。</p>			
市長の回答	担当課	クリーンセンター	
<p>乾電池、蛍光管の中には水銀が使用されている製品もあるため、瑞浪市では有害ごみとして、収集を行っています。また、蛍光管が破損すると非常に鋭利な割れ物となるため市内9箇所（クリーンセンター、市役所、文化センター、市民体育館、各コミュニティセンター）の指定集積場に乾電池、蛍光管の専用の箱を用意して安全に収集をしています。</p> <p>そのため、有害ごみをペットボトルや飲料缶などの資源ごみと一緒に収集することは、安全上難しいです。</p> <p>ごみの性質をご理解の上、指定集積場での収集にご協力いただきますようお願いいたします。</p>			

地区名	土岐地区	番号	12
タイトル	消火設備の更新について		
ご意見の内容			
<p>ホースの格納庫が15か所、消火栓8か所、消火器14か所一日市場にある。ホース格納庫の1つが腐食しており更新を消防本部に相談に行った。紹介していただいた業者の中に瑞浪市の業者は1社（安田株式会社）しかなかったため、見積を取ったら設置についてはできないので、個別に対応して欲しいと言われた。</p> <p>一日市場区内の業者に相談したら、ボランティアでやってもらえることになった。たまたま、やっていただける業者を見つけることができたが、設置までの依頼方法などもわかりやすく対応いただきたい。</p> <p>また、格納庫も1台約12万円するため区費で全て賄うには高額である。現状は補助金は無いとのことですが、その検討をお願いします。</p>			
市長の回答	担当課	警防課 市民協働課	
<p>消火栓ボックスの購入及び維持管理については、各自治会にお願いしております。</p> <p>消防本部に来庁いただいた折に、県内の取扱業者の一覧をお渡ししたものでございますが、他市の業者についても値段や設置の可否についてお問い合わせいただければと思います。</p> <p>ホース格納庫などの地域の防災活動に直接必要な設備等の整備に対する補助については、（一財）自治総合センターが実施する「コミュニティ助成事業（宝くじ助成）」を活用することができます。基礎工事（アンカー工事を含む）を伴わず、格納庫の整備と同時に内容物であるホースを更新するなど条件があります。例年6月ごろ各地区区長会へ次年度の要望についてご案内しておりますので、是非ご活用ください。</p> <p>また、瑞浪市が各地区まちづくり推進組織に交付している「夢づくり地域交付金」も活用することもできます。</p> <p>詳細につきましては、市民協働課へお問い合わせください。</p>			

地区名	土岐地区	番号	13
タイトル	総合文化センターの移転先と収容人数について		
ご意見の内容			
<p>総合文化センターは現在800席ほどあると思いますが、移転後の規模（席数）についてどうなるか。その規模にする理由も教えてほしい。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課 社会教育課	
<p>座席数は400席程度を検討しています。今は約780席ありますが、年間でも数日しか満席になりませんし、二十歳の祝典の参加対象者も現在400人を下回っています。</p> <p>そのため満席でも二十歳の祝典の参加対象者全員が座れることを考慮するとこの程度の席数になる予定です。また効率的な運用をするために、大ホールの椅子は可動式にして、空いているスペースを分割して利用できるようにする予定です。</p> <p>規模を縮小する理由としましては、国の方針により、瑞浪市公共施設等総合管理計画を策定し、現在、市が所有する公共施設の面積を30%以上減らすことを目標としています。</p> <p>図書館と総合文化センターを複合施設にしてニーズに合うように建設費も節約しながら建設していきます。</p> <p>今の場所で図書館と総合文化センターを建替えするとおよそ5年間使用ができなくなってしまうデメリットもありましたので複合施設として移転を決めました。</p>			

地区名	釜戸地区	番号	1
タイトル	東農厚生病院の後利用について		
ご意見の内容			
<p>東農厚生病院跡地が診療所になる可能性はどの程度あるか。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>規模についてはお答えしかねますが、可能性は十分あると思います。 瑞浪市内には一次医療を提供する診療所も複数ありますので、病院が遠くなると心配される方々は、それらの中からおかかりつけ医を決めて通っていただくとよいと思います。 病状が悪化する等して、診療所では対応が難しい場合は、二次医療を提供する新病院へ行っていただき、より高度な医療を必要とする場合は、三次医療を提供する名古屋大学附属病院や愛知県がんセンターなどに行っていただくことになると思います。</p>			

地区名	釜戸地区	番号	2
タイトル	瑞浪駅北に整備する複合施設の文化センターホール機能について		
ご意見の内容			
<p>瑞浪市PTA連合会の会長として、岐阜県研究大会の実行委員長をやらせてもらった際、瑞浪市の文化センターが改修工事で使用できなかった。土岐市の施設を借りて開催したが、他市の施設を借りて行うのには非常に苦勞した。また多くの保護者の方にアピールしたいと思うが、駅北に整備されるホールは400人規模になると聞いている。岐阜県研究大会では約780名のPTA会員に来ていただいた。瑞浪市のホール機能を駅北に整備するのであれば、ある程度キャパシティを持たれたほうが良いと考えますがいかがでしょうか。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課 社会教育課	
<p>計画を進めるにあたり、現在の文化センターの利用頻度から分析すると新施設の規模を縮小したとご理解いただきたい。</p> <p>また国の方針により、瑞浪市公共施設等総合管理計画を策定し、現在、市が所有する公共施設の面積を30%以上減らすことを目標としています。計画を策定した当時、市長と語る会でも説明してきました。</p> <p>また大ホールの利用頻度について、600～700人席が埋まる日は、消防団の入退団式、成人式、中京学院大学の入学式、卒業式、市の自主事業のイベントやコンサートです。</p> <p>私も大ホールには、各種イベントの来賓として出席することがあるが大体200～300人の人数で利用いただいています。</p> <p>そのため新施設は、維持管理費も考慮し、適切な規模の施設にしようということで400人程度を検討しています。ただ観客席を固定してしまうのではなく可動式の観客席を設けて、ホールとして使わない場合は、観客席を片付け、ホールを仕切ること複数団体が利用できるようになり、稼働率が良くなると思います。</p> <p>おっしゃられる通り、今回整備するホールでは、800人規模のイベントを行うことはできませんが、広域連携で近隣の市町村と施設を共有し使用することは、これからの行政の姿ではないかとご理解いただきたいです。</p>			

地区名	釜戸地区	番号	3
タイトル	釜戸町内にある産業廃棄物処理の業者の排水について		
ご意見の内容			
<p>町内にある産業廃棄物処理の業者の施設が造られて3、40年以上経っている中、排水による土壌汚染が進んでいるのではないかと考える。</p> <p>側溝に泡が多く出ていたので、管理されているのか不安である。今後新しい施設もできると聞いているのでそちらも不安である。</p>			
市長の回答	担当課	環境課	
<p>釜戸町の地元市議会議員が県と連携し、調査をしてくれましたので、一定の判断を県がしました。改めて、皆さんが納得していただけるような調査をするよう県に要請していきます。</p> <p>今の施設に関しては、新しい経営者の方がその後引き継ぎ、管理責任をもってやっていただくよう協議し、今日まで来ているとご理解いただきたいと思います。</p> <p>また釜戸町には環境対策委員会があり、その委員会において環境管理や町内の監視をしていただいています。しかしながら、処分場等の交渉については時間がかかります。対策委員会のメンバーは区長会長や副区長会長さんであるため、引き継ぎをしっかりと行う必要があると考えます。</p>			

地区名	釜戸地区	番号	4
タイトル	外国人の移住について		
ご意見の内容			
外国人の移住や定住を考えているか。			
市長の回答	担当課	企画政策課	
<p>現在、瑞浪市には約1200人の外国人が住んでいます。瑞浪市においても、世界中から外国人を受け入れていかないと経済が成り立たないと考えています。そのため市では英語や中国語などの外国語の資料を用意し、お渡ししており、窓口でも職員が英語や中国語で対応させていただいています。</p> <p>外国人が瑞浪市に住みたいと思えるような環境をこれからもつくっていきます。</p>			

地区名	釜戸地区	番号	5
タイトル	6月2日の豪雨の修復等の状況について		
ご意見の内容			
<p>6月2日の豪雨で県道の崩壊等もあり、復旧はまだ先になると思いますが修復状況を教えてください。</p>			
市長の回答	担当課	土木課	
<p>6月2日の釜戸町内の災害では、6月8日までの1週間で、倒木2件、土砂撤去7件、応急措置が必要なもの1件、修繕が必要なもの3件の合計13件の通報をいただきました。その後も雨の強い日があり、7月20日までに新たに倒木5件、土砂撤去2件、応急措置が必要なもの2件、修繕が必要なもの7件の合計16件報告いただき、そのほとんどを既に対応しております。</p> <p>県道の修繕は、渇水期となる令和5年11月から令和6年5月にかけて工事していきたいと県から報告を受けているので、市としても協力していきます。</p> <p>皆さんの身近な災害対応はすべて終わっているとご理解いただければと思います。</p>			

地区名	釜戸地区	番号	6
タイトル	化石発掘の野外体験学習地について		
ご意見の内容			
<p>釜戸町下切のパレオパラドキシアの化石が発掘された場所に化石発掘の野外体験学習地を整備して利用できないかと考える。</p>			
市長の回答	担当課	スポーツ文化課	
<p>現在の野外体験学習地はどんどん掘り進めている影響で面積が狭くなってきています。そのため、下切が化石発掘の適地であるか調査させていただきます。適地であると判断した場合、野外体験学習地として活用しようと考えます。</p> <p>【補足】 調査の結果、釜戸町における化石を包含する地層の分布状況につきましては、土岐川の河床周辺に散在（限られた範囲に点的に存在）している状況であり、長期間にわたり安定的に化石採集を行うことは困難であり、また、これらの地層は河床に露出しており、化石を採集するには長靴等を着用して河川に入る必要があることから、誰もが安全に、かつ何時でも自由に化石採集を行うことも困難であるため、野外体験学習地としては不適と判断しました。</p>			

地区名	釜戸地区	番号	7
タイトル	今後の小学校の在り方について		
ご意見の内容			
<p>小学校の適正化という問題を今後考えていかなければいけないと思う。現在考えている今後の方針を教えて欲しい。</p>			
市長の回答	担当課	学校教育課	
<p>釜戸町では、令和7年度に2年生、3年生が複式となります。そして、陶町や日吉町でも今後複式学級となっていきます。また、中学校については、瑞浪北中学校は十分クラス、生徒数を維持できていますが、令和11年度に瑞浪南中学校は1学年1クラスとなります。統合する当時、大きなテーマとしてクラス替えができる規模の学校にしたいという考えがありました。</p> <p>市として、昨年から今年にかけて学区制審議会を設置し、小学校と中学校のあり方の議論をしていただいております。近々、その審議会より答申をいただく予定ですので、そこで出た結論を尊重していきます。</p>			

地区名	瑞浪（山田）地区	番号	1
タイトル	新病院の医師確保について		
ご意見の内容			
<p>政府は医学部の定員を増やしてない。市長選の際に行われた公開討論会の際に市長より医師は確保するとお話をしたが、新しい病院に医師が本当に確保できるのかが非常に心配である。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>医師の確保は容易ではありませんが確保できるよう努めています。 現在、国は医学部の定員を増やす閣議決定をしており、医学部の定員は増えています。 しかし、医師不足が深刻な地域に同じような病院があっては医師が分散し、病院の機能が維持できない恐れもあり、東濃厚生病院と土岐市立総合病院を統合するよう進めてきました。 病院統合により、産婦人科や脳神経外科、小児科、口腔外科など東濃厚生病院にはいなかった専門医を新たに確保します。 また、指定管理者として新病院を運営、経営するJA岐阜厚生連の責任において、名古屋大学医学部、岐阜大学医学部、愛知医科大学医学部の医局に働きかけ、新病院の医師確保を進めていただいています。私も土岐市長もそれに同行するなどし、医師確保に努めています。 産婦人科医につきましては、1人確保することができました。その方は、現在、関市のJA岐阜厚生連中濃病院にて産婦人科医として働きながら、新病院の建設に携わっていただいています。</p>			

地区名	瑞浪（山田）地区	番号	2
タイトル	市長と語る会の内容について		
ご意見の内容			
<p>周辺地区の市長と語る会の参加者に感想を伺ったところ、市長の話が非常に長く、1時間30分という限られた時間の中で市長が40～50分話しをされると質問できる時間が短い。市長と語る会ではなく、市長が語る会ではないか。質を変更する必要がある。</p>			
市長の回答	担当課	企画政策課	
<p>今回の市長と語る会については、説明を短くし、多くの方の意見を伺えるよう心掛けています。</p> <p>わかりやすく説明するためには、詳しく話しをしなければならないと思い、多少長くなってしまっているのだと思います。</p> <p>今回、どこの会場にも多くの方に来ていただきました。例年、道路を修繕して欲しいなどの要望が多くありましたが、今回の市長と語る会では、病院の統合、駅周辺再開発、道の駅、広域連携について多くの意見を伺うことができました。</p> <p>これは、今年7月の市長選挙が瑞浪市について考えるきっかけとなり、やはり選挙は行われるべきであると改めて感じました。</p>			

地区名	瑞浪（山田）地区	番号	3
タイトル	市長と語る会の開催方法および子どもに対する施策について		
ご意見の内容			
<p>水野市長が市長と語る会を始めてから毎回参加させていただいている。市長と語る会の参加者を見ても年配の方が多く、子育て世代の若い方が出席できず、そういった方の意見は本当に市政に反映出来ているのでしょうか。</p> <p>私の仕事上、お母さん方の話を聞いているが、現実には相当危機的である。子育てに悩み、自殺されたり、子どもに対して虐待をするなどの案件が増えてきている。そのように困っている方に対して、何とかしていかねばならないと思う。</p> <p>瑞浪市の育児事情をみると、親が土曜日1日仕事してるのにも関わらず、13時までしか預けられなかったり、「一時預かり保育」についても、市民以外は対応いただけないため、里帰りし出産した方は利用することができない。</p> <p>10年先のことを考え、学校に登校できない子どもを何とかするには、私は、食を大切にしなければならないと考えている。食は心と身体をつないでいるため、市の給食にもオーガニック食材を使って欲しいと要望している。健康な子どもを育てるのが大人の使命である。まず身近な問題を解決し、大きな事業を進めていただき、よりよい瑞浪になると良い。</p>			
市長の回答	担当課	企画政策課 子育て支援課	
<p>市長と語る会については、行政は市役所の中だけで仕事をしてはいけないと思い、各地に出向き対面でお話する活動を続けています。市長と語る会の開催時間帯が夜となっており、若い方が出席できていないことが課題であることは承知しています。現在市内に、3つの高校と1つの大学がありますので、学生と語る会を開催し、若者の意見を伺っています。毎年、様々な団体から市長と語る会を行いたいと要望を受け、50箇所くらいでやっていますので、要望があれば土日でも伺いますのでご連絡ください。</p> <p>瑞浪北中学校の統合については、日吉町在住の小学生を養育するお母さん方との市長と語る会がきっかけで実現しました。その市長と語る会で「自分の子どもを日吉中学校ではなく瑞陵中学校に通わせたい」といった意見を多く耳にしました。その意見を教育委員会と共有し、学区制審議会を立ち上げました。審議会からの答申内容は、「小学校は各地域に当分残すべき、中学校はクラス替えができ、部活動が選べることができる環境を目指し統合を進めるべき」でしたので、統合を進めてきました。</p> <p>現在、子育てについては、国も大きく動いており、子どもの数を増やそうという施策を打ち出しています。市としてはそうした国の動向を注視し、県と連携しながら進めていきます。</p> <p>土曜日の保育に関しましては、市内私立園で365日対応ができる園がありますので、そちらの園をご案内することで対応しています。また、園に通っているお子さんに関しても、午後のみ「一時預かり保育」をご利用いただくことも可能となっています。</p> <p>なお、「一時預かり保育」の市外の方の利用については、可能となっています。しかしながら、補助金として市の税金等が投入されていますので、瑞浪市民の利用を優先していただくこととしています。また、市外の方の利用実績は、補助金の実績報告書の利用人数としては算入できないことになっています。このような事情をご理解いただくよう、お願いいたします。</p> <p>瑞浪市の予算は約160億円で、約800の事業をやっていますので、限られた予算をバランスよく使わせていただきます。</p>			

地区名	瑞浪（山田）地区	番号	4
タイトル	山田町内の歩道について		
ご意見の内容			
<p>運転免許証の返納が話題になっているが、自分に置き換えたとき、物を買っていくのにバスに乗って行くわけにはいかない。最近よく見かけるスクーターで行こうと思っても山田地区の歩道では安心して走行できないと考える。子どもたちの通学路なので改善していただきたい。</p>			
市長の回答	担当課	土木課	
<p>県道上山田寺河戸線の歩道整備については、地元の市議からも要望を受けています。一度にはできないため、北側からガードパイプを設置するなど整備を進めると承知しています。現時点で大幅に改良することはできないと伺っていますが、安全に通行できるよう整備を進めていただいていることをご了承いただきたい。</p>			

地区名	瑞浪（山田）地区	番号	5
タイトル	ごみの最終処分場について		
ご意見の内容			
<p>ごみ焼却場については、人口5万を超える自治体しか国から補助金が出ないと伺った。ごみ焼却場は、3市で現在協議を行っているので、3市のどこかに作られればよいと思う。</p> <p>しかし、焼却することで出る灰の埋め立てには広大な土地が必要であると考えます。今後は、不燃物処理を含め検討する必要があるのではないかと。</p>			
市長の回答	担当課	クリーンセンター	
<p>灰をどう処分するかにつきまして、クリーンセンターでは酸素式熱分解直接溶融炉を使用して可燃ごみの処理を行っています。本溶融炉は、ごみが持つエネルギーと酸素を使って高温融解することにより、ストーカ炉と比較して灰及びスラグの発生量を少なくしています。</p> <p>また、スラグは不燃物最終処分場において埋立に使用する覆土材として再利用しています。</p> <p>クリーンセンターは、平成14年7月に運転を開始し始めて21年が経過しています。多治見市、土岐市及び瑞浪市の3市で統合する時期を合わせるため、この間に、耐震補強工事を実施し、30年以上使用できるよう延命を図ってきました。現在においても3市で焼却施設の統合に向けた協議を進めており、現在、令和19年の運転開始を見込んでいます。</p> <p>当施設についても、新施設運転開始に向けた長寿命化を計画的に行ってまいります。</p> <p>なお、不燃物最終処分場につきましては、3市での統合は行いませんのでご承知おきください。</p>			

地区名	瑞浪（山田）地区	番号	6
タイトル	地区公民館について		
ご意見の内容			
<p>瑞浪市地区、土岐地区、明世地区には地区公民館がないのはなぜか。 文化センターの稼働率が悪いのは貸館業務しかしていないからであると考えます。 他市では、地区公民館が主体となって様々なイベント等を企画しているが、瑞浪市にはその機能がない。文化センターにそういった企画のできる職員がいれば稼働率が上がるのではないかと考えます。</p>			
市長の回答	担当課	中央公民館	
<p>釜戸、日吉、大湫、陶、稲津地区には地区公民館があり、瑞浪、土岐、明世地区は中央公民館を地区公民館としています。中央公民館に公民館長もいますし、職員もいます。もっと創意工夫することができれば、市民の皆さまに利用していただければと考えています。</p>			

地区名	瑞浪（山田）地区	番号	7
タイトル	自治会組織への加入および加入していない方のごみの捨て方について		
ご意見の内容			
<p>自治会組織に入っていない方が多く、また、瑞浪市の広報を読んでいない方も多いため、ルールに従ったごみの捨て方ができない人が多い。</p>			
市長の回答	担当課	市民協働課 環境課	
<p>自治会への加入については、課題であると感じております。瑞浪市に転入届が提出された際の加入案内や自治会活動の意義を広報し、加入を促進をしています。しかしながら加入を強制することはできませんのでご了承ください。</p> <p>ごみの捨て方の問題につきましても、外国人をはじめ瑞浪市に転入いただいた方に瑞浪市でのごみ捨てルールを周知するため、ごみ捨てマニュアルを4か国語で作成して配布しております。</p>			

地区名	瑞浪（山田）地区	番号	8
タイトル	道路整備の際に設置する街路樹について		
ご意見の内容			
<p>道路を新しく整備するとき街路樹等は必要ない。植えてられても管理は地元でなければならないため、管理が大変である。</p>			
市長の回答	担当課	土木課	
<p>街路樹については、景観を良くするために実施しています。確かに草刈や枯れ木等の掃除など管理が必要であり、また運転する際に視界を妨げる原因となっています。新しい道路を作るときには街路樹が必要か考えなければならないと思います。しかしながら、現在あるものを撤去することは難しいのでご了承ください。</p>			